



例年、ストックホルムコンサートホールで行われる厳かな式典で、スウェーデン国王カール16世グスタフ陛下が受賞者に賞状を手渡します。

ノーベル賞：

世界が注目する栄誉の賞

ノーベル賞は世界で最も権威のある賞と考えられています。これまでにノーベル賞を授与された発見としては、X線、放射能、ペニシリンなどがあります。平和賞受賞者には、ネルソン・マンデラやダライ・ラマ14世などが挙げられます。文学賞を受賞したガブリエル・ガルシア=マルケスやドリス・レッシングは、それぞれ「百年の孤独」や「草は歌っている」などの作品で読者を魅了しています。

毎年10月上旬、スウェーデンとノルウェーに世界中の注目が集まります。ストックホルムとオスロでノーベル賞受賞者が発表されるからです。この期間中、ノーベル財団のウェブサイトには、何百万ものアクセスが集中します。

ノーベル賞は1901年から毎年（第二次世界大戦中など、数年の例外を除いて）、物理学、化学、生理学・医学、文学、平和に功績のあった人物や団体に贈られています。

「ノーベル・デー」は12月10日です。受賞者は講演や会議やレセプションで多忙なノーベルウィークを過ごしますが、この日こそが最高の栄誉に輝く日といえるでしょう。

その日にはストックホルムでノーベル賞授賞式が開かれ、スウェーデン国王から物理学、化学、生理学・医学、文学の各受賞者にメダル、賞状、賞金が授与され、続いて晩餐会が開催されます。同日、オスロではノーベル平和賞が授与されます。

経済学賞

1968年、スウェーデン国立銀行（中央銀行）が、アルフレッド・ノーベル記念経済学賞を設立しました。同賞は1968年、国立銀行設立300周年を記念して、ノーベル財団が国立銀行から受けた寄付金をもとに設立されたものです。経済学賞は、ノーベル賞と同じ原則に従い、スウェーデン王立科学アカデミーから授与されます。

ご存知でしたか？

女性は51名

1901年から2018年までの間に、ノーベル賞と経済学賞を女性が受賞した回数は52回にのぼります。しかし1人だけ、2度受賞した女性がいます。それはマリー・キュリーで、1903年にノーベル物理学賞、1911年にノーベル化学賞を受賞しました。このため、これまでにノーベル賞を受賞した女性は合計51名ということになり、そのうち17名が平和賞、14名が文学賞、12名が生理学・医学賞、5名（キュリーを含む）が化学賞、3名（キュリーを含む）が物理学賞、1名が経済学賞を受賞しています。

96歳

これまでの受賞者の中の最高齢は、2018年に物理学賞を受賞したアーサー・アシュキンで、受賞時の年齢は96歳でした。

17歳

これまでの受賞者で最も若かったのは、2014年に平和賞を受賞したマララ・ユスフザイで、受賞時の年齢は17歳でした。

辞退者は2名

これまでに2名がノーベル賞の受賞を辞退しています。1人はジャン=ポール・サルトルで、1964年の文学賞受賞者に選ばれましたが、あらゆる公的な栄誉を一貫して辞退していたサルトルは、ノーベル賞も辞退しました。

ベトナム和平協定の交渉にあたったレ・ドゥク・トは、米国のヘンリー・キッシンジャー国務長官とともに、1973年の平和賞受賞者に選ばれましたが、ベトナムの状況に鑑みると、平和賞を受ける立場にないとして、受賞を辞退しました。

強制的に辞退させられたのは4名

当局によってノーベル賞の受賞を辞退させられたのは4名です。アドルフ・ヒットラーは3名のドイツ人—リヒャルト・クーン（化学賞）、アドルフ・ブーテナント（化学賞）、ゲルハルト・ドーマーク（生理学・医学賞）—の受賞を許可しませんでした。ドイツの作家で、ヒットラーとナチス主義に公然と反旗を翻していたカール・フォン・オシエツキーが1935年にノーベル平和賞を受賞した後、ナチス政権はドイツ人がノーベル賞を受け取ることを禁止したのです。この3名は後になって賞を受けとりましたが、賞金は授与されませんでした。

1958年の文学賞受賞者、ボリス・パステルナークは、当初は受賞が決定していましたが、後になってソビエト当局により強制的に辞退させられました。

▶ アルフレッド・ノーベルの遺産

ノーベル賞はスウェーデンのアルフレッド・ノーベル（1833年–1896年）が後世に残したもので、賞は「前年に人類のために最大の貢献をした人々」に授与されてきました。1895年に最後の遺言に署名したノーベルは、自分の遺産の大部分を基金に変え、安全な有価証券に投資することを宣言しました。スウェーデンとノルウェーの4つの機関（両国は1814年から1905年まで連合王国でした）、すなわちスウェーデン王立科学アカデミー、ストックホルムのカロリンスカ研究所、スウェーデン・アカデミー、およびノルウェー議会（Stortinget）によって選出された5名の委員会が授与機関となっています。

ノーベル財団

1900年、4つの授与機関は、アルフレッド・ノーベルの遺言にもとづく民間団体として、ノーベル財団を設立することに同意しました。ノーベル財団は、3100万クローナにのぼるノーベルの遺産を管理し、発表を行い、授賞式の手配をします。毎年授与される賞金の総額は直近の運用益によって決まります。資本は現在45億クローナ余りで、インフレ調整後で元の遺産額の2倍以上となっています。

各分野のノーベル賞の賞金は現在900万クローナです。それぞれの賞は一度に3名まで受賞することができ、その中で賞金を配分します。

ノーベル賞関連組織

ノーベル賞に関連した多様な業務は、いくつかの組織や機関に委託されています。

さまざまなメディアを通じて、ノーベル賞受賞者やその功績についての情報を発信するノーベル財団権利協会（Nobel Foundation Rights Association）が1999年に設立されました。

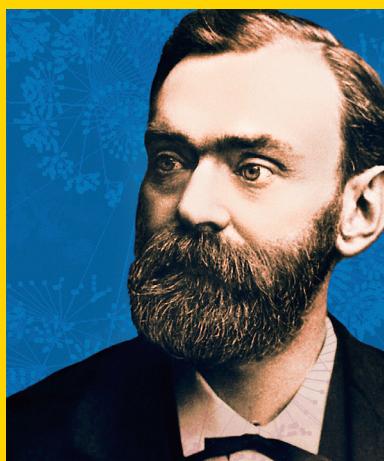
この非営利団体を統括組織とし、その下に3つの関係団体が設置されています。

- ノーベル・メディアデジタルメディアや放送の分野で、ノーベル賞の番組、制作、メディア権の開発・管理を行います。
- ノーベル博物館—ストックホルムの旧市街にある旧証券取引所の建物（Börshuset）を活用して、自然科学や文化についての興味を喚起し、知識を広める役割を果たしています。
- ノーベル平和センター—ノルウェーのオスロ市、ロードヒュースプラッセン（市長広場）にあり、ノーベル平和賞や、その受賞者の活動を紹介しています。■

ダイナマイトの父

化学者であり、技術者、発明家、そして起業家でもあるアルフレッド・ノーベルは、1833年10月21日にストックホルムで生まれ、1896年12月10日にイタリアのサンレモで亡くなりました。爆発物の研究に専念し、雷管、ダイナマイト、無煙火薬など、さまざまな製品を発明しています。1881年、スイス・アルプスのSt. Gotthard（ザンクト・ゴッタルド）トンネルの開通にあたってダイナマイトが初めて大規模に使用されたことで、ノーベルの名は一躍世界に知られるようになりました。

ノーベルが亡くなった時、さまざまな国で保有していた特許は355件ありました。20カ国以上の国々にノーベルの会社があり、こうした特許をもとに、あらゆる種類の爆薬が世界の約90か所の工場で製造されていました。スウェーデン、ロシア、フランス、英国、ドイツ、イタリアなど、ノーベルの生活と仕事の場は多くの国々にまたがっています。5か国語を話し、文学に強い関心があり、みずから詩や戯曲を著しました。しかし、ノーベルはこの賞がどれほど重要なものになるか、将



アルフレッド・ノーベル

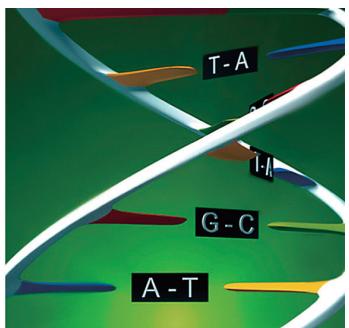
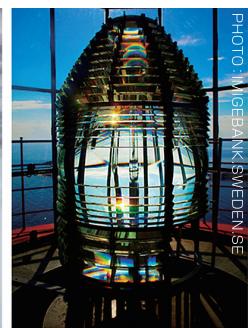
来のノーベル賞受賞者がどれほどメディアから注目を浴びることになるか、想像もできなかつたことでしょう。

ノーベル賞授与機関

ノーベル賞の受賞者は4つの機関で選考が行われます。

**スウェーデン王立科学アカデミー
(物理学賞、化学賞、アルフレッド・ノーベル記念スウェーデン国立銀行経済学賞)。**

独立機関として1739年に創立されたスウェーデン王立科学アカデミーは、科学を推進し、科学が社会での影響力を高めることを目標としています。現在はスウェーデン人会員が約460名、外国人会員が175名です。



**スウェーデン・アカデミー
(文学賞)。**

1786年に創立され、会員数は18名で、全員終身会員ですが、議長席が空席であることもあります。



**カロリンスカ研究所ノーベル会議
(生理学・医学賞)。**

会議は1977年から現在の形になり、カロリンスカ研究所の教授50名から構成されています。

**ノルウェー・ノーベル委員会
(平和賞)。**

1897年に創設され、ノルウェー国会に指名された5名の委員から構成されています。

晚餐会の中の晩餐会

ノーベル賞の晩餐会はストックホルム市庁舎のブルーホール（青の間）で開かれる壮麗なパーティです。その準備には細心の注意が払われ、すべてが支障なく運ぶように、何百人の料理人、給仕係、接待係が心を配ります。1,300人の賓客が招かれ、受賞者は伴侶のほかに14名を招待することができます。

スウェーデンの王族や、首相をはじめとする政府の閣僚も必ず出席し、ノーベル一族からも代表者がつねに出席しています。そのほか、スウェーデンの国内外から、文化や科学分野の著名人が招待されることになっています。



毎年、大晩餐会には1,300人の賓客が招待されます。

文化と科学の歴史

初めてノーベル賞が授与された1901年から2018年までの間に、合計935のノーベル賞が個人や団体に贈られてきました。それらを総合すると、世界の文化と科学の歴史にどれほど大きな貢献がなってきたかがわかります。

ノーベル賞はこれまでに908名の個人と27の団体に授与されてきました。しかし2度以上受賞する栄誉に浴した受賞者がわざわざながらいるため、これまでの受賞者を合計すると、904名の個人と24の団体ということになります。

1901年の第1回物理学賞は、世界中の医療提供者が毎日のように使っているX線を発見したヴィルヘルム・コンラート・レントゲンが受賞しました。

1903年には、マリー・キュリーが放射能の研究によってノーベル物理学賞の共同受賞者に選ばれ、初の女性受賞となりました。キュリーは、新元素ラジウムの分離と研究により、1911年に二度目のノーベル賞——この時は化学賞——を受賞しています。

1905年、ドイツとオーストリアでの平和運動に寄与したとして、オーストリアの男爵夫人で作家のベルタ・フォン・ズットナーが、女性として初めてノーベル平和賞を受賞しました。ズットナーはアルフレッド・ノーベルと文通し、平和賞の創設に影響を与えた人物として広く認識されています。

1912年、灯台技術に多大な貢献があったとして、スウェーデンの発明家で企業家のグスタフ・ダーレーンがノーベル物理学賞を受賞しました。ダーレーンは1900年代初めに、ア

セチレンガスを燃料とする自動式灯台の一種であるAGA灯台を発明しました。これは、日中はガスを停止させる太陽バルブと、短時間ごとにガスのスイッチを定期的に切り替え灯台が光るようにする回転照明機によって、ガスの供給を調節するものです。この2つの革新的な技術により、以前の灯台に比べて、ガスの消費量を10分の1に減らすことが可能になりました。

1945年の秋、カロリンスカ研究所の教授たちは、生理学・医学賞受賞者を選出するため、ノーベル賞会議を開催し、3名の受賞者を選びました。その1人がペニシリンを発見したアレクサンダー・フレミングです。この発見のおかげで、20世紀後半に何百万人の命が救われたのでした。

2018年のノーベル平和賞を受賞したのは、デニ・ムクウェゲとナディア・ムラードです。両名とも、蔓延している紛争下における性暴力と闘い、性暴力の存在を発信するための努力をしてきました。

過去のノーベル平和賞受賞者の中には、マーティン・ルーサー・キング（1964年）、マザー・テレサ（1979年）、バラク・オバマ（2009年）も名を連ねています。

ノーベル文学賞の受賞者には、アーネスト・ヘミングウェイ（1954年）、トニー・モリ

2018年ノーベル賞

(国名は出生地を表す)

化学

フランシス・H・アーノルド、米国

「酵素の指向性進化法の開発に対して」
および

ジョージ・P・スミス、米国

サー・グレゴリー・P・ウィンター、英国

「ペプチドおよび抗体のファージディスプレイ法の開発に対して」

文学

2018年ノーベル文学賞の発表は見送り。

平和

デニ・ムクウェゲ、コンゴ民主共和国

ナディア・ムラード、イラク

「戦場や紛争地域において兵器として用いられる戦時性暴力を終結させるための努力に対して」

物理学

アーサー・アシュキン、米国

「光ピンセットの開発と生体システムへの応用に対して」
および

ジェラール・ムル、フランス

ダナ・ストリックランド、カナダ

「高強度超短パルス発生法の研究に対して」

生理学・医学

ジェームズ・P・アリソン、米国

本庶佑、日本

「負の免疫制御を阻害するがん治療法の発見に対し」



本庶佑先生

アルフレッド・ノーベル記念経済学賞

ウィリアム・D・ノードハウス、米国

「気候変動を長期的マクロ経済分析に統合した功績に対し」
および

ポール・M・ローマー、米国

「技術革新を長期的マクロ経済分析に統合した功績に対し」

SEK 1(スウェーデンクローナ)
=12.4円(2018年11月現在)

▶ ソン(1993年)、ダリオ・フォ(1997年)、マリオ・バルガス=リョサ(2010年)などがいます。2018年には、創設以来8度目、1943年からは初めて、文学賞の発表が見送られました。スウェーデン・アカデミーの

危機により、アカデミー会員の数が減少し、アカデミーに対する社会の信頼も低下しました。アカデミーは、2019年の受賞者の選考時に2018年の受賞者も決定し、一緒に発表することにしています。■

ノーベル賞カレンダー

アルフレッド・ノーベルの命日にあたる12月10日に、ストックホルムでノーベル賞の式典が開かれます。同日、ノルウェーのオスロではノーベル平和賞の授賞式が行われます。

この週には、そのほかにも、ノーベル賞授与機関、ノーベル財団、スウェーデン王室が主催するレセプションや夕食会など、いくつかの行事が行われます。受賞者はレクチャーを行い、自分の活動について講演します。また通常、パネルディスカッションなどの公式行事にも出席します。

ノーベル賞の晩餐会では、受賞者とその伴侶は王室の人々と一緒に座ることが伝統となっ

ています。王宮で開かれる内輪の夕食会にも招かれ、王室の人々とはそこでもう一度会うことができます。ノーベル財団への訪問はきわめて象徴的なイベントです。

受賞者は賞金額を確認する書類を受け取り、ゲストブックに署名します。これによって、数百人の有名な先人たちの仲間入りを果たすのです。

ストックホルムのノーベルウィーク

12月5~7日

ストックホルムで記者会見とセミナーを開催。

12月7~8日

受賞者によるノーベル・レクチャー。

12月8日

ストックホルムコンサートホールで、ノーベル賞受賞者を祝うコンサートを開催。

12月10日

ストックホルムコンサートホールでノーベル賞授賞式典を開催。スウェーデン国王が一人一人の受賞者にノーベル賞のメダルと賞状を手渡す。その後、ストックホルムの市庁舎で晩餐会を開催。

12月11日

王宮での晩餐会をもって一連の祝賀行事を終了。



役に立つリンク

www.ki.se
カロリンスカ研究所

www.nobelpeaceprize.org
ノルウェー・ノーベル委員会

www.kva.se
スウェーデン王立科学アカデミー

www.nobelprize.org
ノーベル賞公式ウェブサイト

www.nobelpeacecenter.org
ノーベル平和センター

www.svenskaakademien.se
スウェーデン・アカデミー

著作権: スウェーデン文化交流協会発行。2018年11月FS20。

すべてのコンテンツはスウェーデンの著作権法で保護されている。テキストは、www.sweden.seからの出典であることを明示すれば、いかなるメディアにおいて転記、転送、転載、出版、放送しても差し支えないが、写真とイラストの使用は禁じる。

スウェーデン文化交流協会(SI)は、海外におけるスウェーデンへの関心を高め、信頼を構築することを目的とした公的機関である。SIは、文化、教育、学術、ビジネスの分野での戦略的コミュニケーションと交流を通じて、外国との協力と長期的な関係を築くことを目指している。

スウェーデンに関するさらに詳しい情報は、www.sweden.se(スウェーデンの公式サイト)、あるいは各国のスウェーデン大使館または領事館、またスウェーデン文化交流協会まで。

スウェーデン文化交流協会(Swedish Institute)、Box 7434, SE-103 91 Stockholm, Sweden
電話: +46 8 453 78 00 メール: si@si.se

www.si.se www.sharingsweden.se

